



Roche ロシュ グループ

TOP INNOVATOR  
**TOP i 2030**

# 2023年第1四半期決算説明会

## 中外製薬株式会社

2023年4月27日



創造で、想像を超える。



# 重要な注意事項

## 将来見通し

本プレゼンテーションには、中外製薬の事業及び展望に関する将来見通しが含まれていますが、いずれも、既存の情報や様々な動向についての中外製薬による現時点での分析を反映しています。実際の業績は、事業に及ぼすリスクや不確定な事柄により現在の見通しと異なることもあります。

## Core実績

当社はIFRS移行を機に2013年よりCore実績を開示しております。Core実績とは、IFRS実績に当社が非経常事項と捉える事項の調整を行ったものであります。なお、当社が非経常事項と捉える事項は、事業規模や範囲などの違いによりロシュと判断が異なる場合があります。当社ではCore実績を、社内の業績管理、社内外への経常的な収益性の推移の説明、並びに株主還元をはじめとする成果配分を行う際の指標として使用しております。

注：

- ・ 本資料の数値は億円未満を四捨五入して表示。増減、％は億円単位で表示された数字で計算
- ・ 本資料の増減金額の表記は以下の通りです。

① 収益及び原価・費用の増減は、増益方向を「+」、減益方向を「△」で表示

② 増減率は金額の「増」「減」をそれぞれ「+」「△」で表示

# Agenda



01

## 2023年第1四半期の総括

代表取締役社長 CEO

奥田 修

02

## 2023年第1四半期 連結決算(Core)概要

取締役 上席執行役員 CFO

板垣 利明

03

## 開発パイプラインの状況

上席執行役員プロジェクト・ライフサイクルマネジメントエグゼクティブ

山口 哲弥



Roche ロシュグループ

# 2023年第1四半期の総括

代表取締役社長 CEO

**奥田 修**

# Financial Overview

- 新製品/主力品や自社創製品のロシュ向け輸出等が順調に伸長し、増収増益
- 業績見通しに変更はなく、COVID-19関連治療薬の影響を除く通期予想では増収増益を見込む

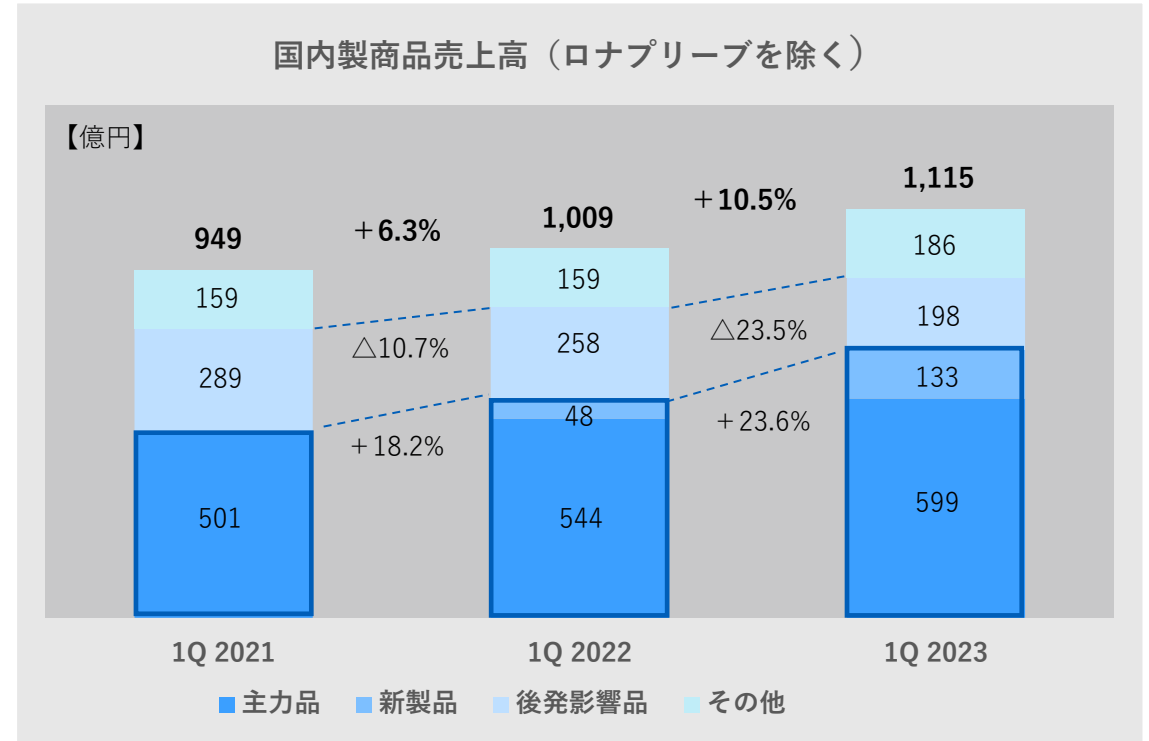
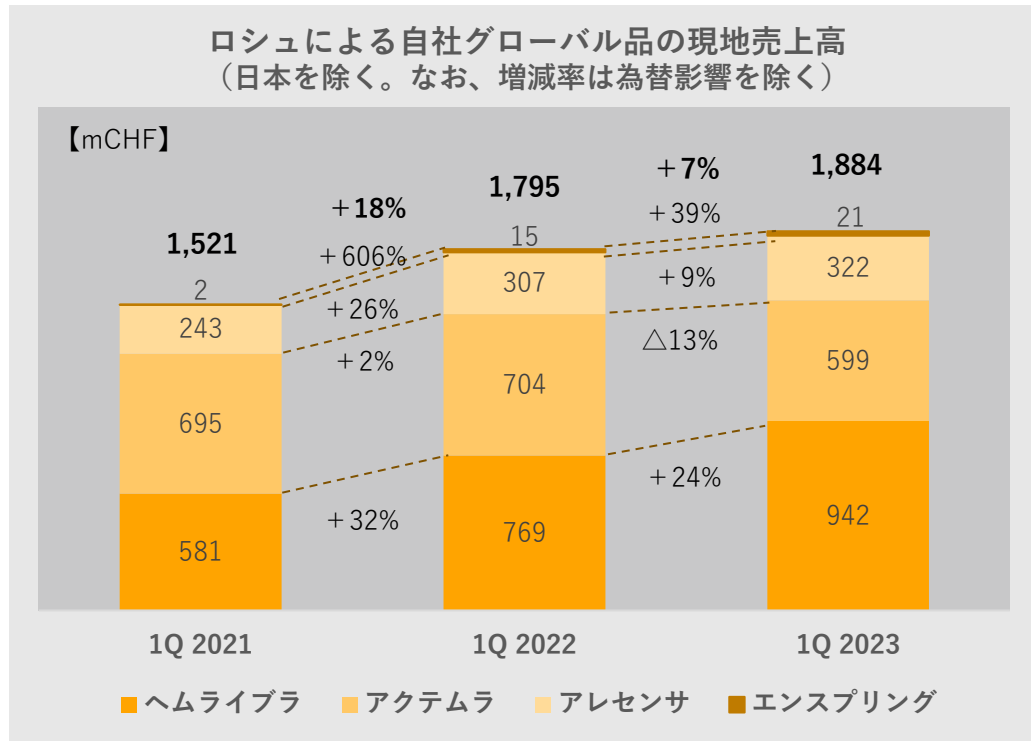
Core実績 【億円】	2022年	2023年	対前同		2023年	進捗率
	1-3月 実績*	1-3月 実績			1-12月 予想	
売上収益	2,684	3,122	+438	+16.3%	10,700	29.2%
国内製商品売上高	1,617	1,927	+310	+19.2%	5,417	35.6%
海外製商品売上高	810	988	+178	+22.0%	3,783	26.1%
その他の売上収益	257	207	△50	△19.5%	1,500	13.8%
営業利益	989	1,054	+65	+6.6%	4,150	25.4%
営業利益率	36.8%	33.8%	△3.0%pts	-	38.8%	-
四半期利益	706	784	+78	+11.0%	3,060	25.6%
EPS (円)	42.91	47.66	+4.75	+11.1%	186.00	25.6%

- 国内売上は、薬価改定や後発品浸透の影響を受けるも、新製品・主力品が順調に市場浸透したことに加え、ロナプリーブの政府納入を主因として増加。なお、ロナプリーブを除く国内売上は、1,115億円（+10.5%）と堅調に推移
- 海外売上は、ロシュ向けアレセンサ輸出、アクテムラ輸出を主因に大幅に増加
- その他の売上収益は、ヘムライブラの初期出荷分に関するロイヤルティ収入の終了により減少

\*売上収益につきまして、2023年12月期より当該項目から製品譲渡に係る収益を除外しております。これに伴い2022年12月期の実績も同様に組替えて表示しています。

# 自社グローバル品および国内製商品の第1四半期売上高推移

- 自社グローバル品のロシュによる現地売上高は、ヘムライブラを中心に順調な市場浸透
- 国内は新製品/主力品が好調に推移。後発品（BS/GE）浸透の影響を吸収し、売上が拡大






## ヘムライブラ：国内血友病A患者シェア推移

4Q 2021	1Q 2022	2Q 2022	3Q 2022	4Q 2022	1Q 2023
24.7%	26.3%	27.3%	28.5%	29.2%	30.0%

主力品：テセントリク、ヘムライブラ、アクテムラ、パージェタ、アレセンサ、エンズプリング、カドサイラ  
 新製品：ポライビー、エブリスディ、パビースモ  
 後発品影響品：アバスチン、ハーセプチン、リツキサン、エディロール、オキサロール、セルセプト

# 自社創製後期開発品アップデート

## クロバリマブ、ネモリズマブが相次いでピボタル試験で主要評価項目を達成

開発品	予定適応症	Pivotal Study	学会発表	申請/上市予定年
 クロバリマブ ロシュ主導	発作性夜間ヘモグロビン尿症 (PNH)	2023年2月：P3試験 (COMMODORE2) で主要評価項目を達成。もう一つのP3試験 (COMMODORE1) でも良好なベネフィット・リスクプロファイルを支持	欧州血液学会 (EHA2023：6月8日～6月11日) にて発表予定	2023年上期申請予定 (日米欧) ※中国は2022年に申請済
 ネモリズマブ [海外] Galderma主導	アトピー性皮膚炎	2023年1Q：2つのP3試験 (ARCADIA1/2) で、すべての主要評価項目と副次評価項目を達成	2023年後半発表予定	2024年下期 上市予定 (米国)
	結節性痒疹	P3試験 (OLYMPIA 2) で主要評価項目と副次評価項目すべてを達成。もう一つのP3試験 (OLYMPIA 1) も順調に進捗	2023年3月：OLYMPIA 2の結果をAAD late-breakingセッションにて発表	2024年下期 上市予定 (米国)
 orforglipron (OWL833) Eli Lilly and Company主導	2型糖尿病	P3試験が2023年上期開始予定	—	—
	肥満症	P3試験が2023年上期開始予定	—	—



# 創薬/製薬技術研究拠点の状況

富士御殿場研究所/鎌倉研究所を統合し、中外ライフサイエンスパーク横浜が4月より全面稼働

創薬研究		製薬技術研究
 <p>中外ライフサイエンスパーク横浜</p>	 <p>Chugai Pharmabody Research (シンガポール)</p>	 <p>浮間研究所</p>

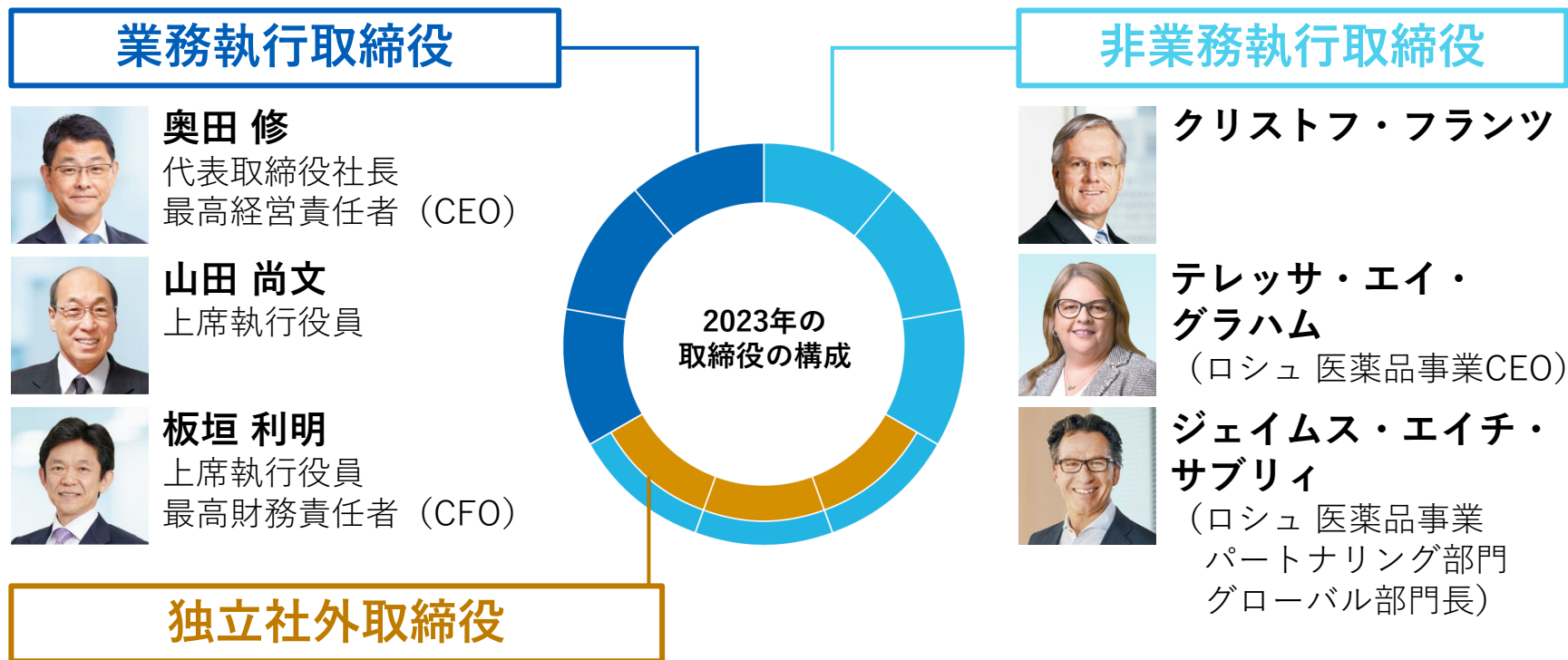
## ■ 富士御殿場研究所/鎌倉研究所：閉鎖に向けた状況

研究所	敷地面積	売却先	売却予定時期
富士御殿場研究所	142,285m <sup>2</sup>	ヨシコン (株)	2023年4Q (現況有姿)
鎌倉研究所 南側敷地	53,945m <sup>2</sup>	(株) 長谷工コーポレーション	2023年3Q (現況有姿)
鎌倉研究所 北側敷地	35,359m <sup>2</sup>	高砂香料工業 (株)	2025年4Q (更地)



# 取締役構成（2023年4月1日現在）

社内/社外/ロシュから成る多様性のある人員構成



**指名委員会**

**報酬委員会**

**特別委員会**

\* 独立社外監査役 増田 健一  
 ○○：議長

# 早期退職優遇措置の実施

## 背景

- 新薬開発難易度の上昇、国内外での医療費・薬剤費抑制策の推進、後発品・バイオシミラーの市場浸透の拡大等、事業環境の厳しさは更に加速
- デジタルテクノロジー進展に伴う事業活動の变革

## 目的

- 激変する事業環境における経営課題への迅速な対応、戦略的資源配分に向けた構造改革
- 就業意識やライフスタイルの多様化により、早期に退職して新たなライフプランを考える従業員への支援

## 概要

- 対象者 満40歳以上の正社員およびシニア社員  
(別途定める適用要件を満たす者)
- 募集期間 2023年4月3日～2023年4月21日
- 退職日 2023年6月30日
- 応募人数 374名
- 措置の内容 ①退職加算金、②再就職支援
- 業績への影響 特別加算金等約104億円をNon-Core項目として計上予定  
※Coreベースの2023年12月期連結業績予想への影響は軽微

# 2023年第1四半期 連結決算(Core)概要

取締役 上席執行役員 CFO

**板垣 利明**

# 損益 1-3月 Non-Core調整

【億円】	IFRS実績	Non-Core調整		Core実績
		無形資産	その他	
<b>売上収益</b>	<b>3,122</b>			<b>3,122</b>
製商品売上高	2,915			2,915
その他の売上収益	207			207
売上原価	△ 1,513	+3		△ 1,510
研究開発費	△ 429	+49	+19	△ 361
販売費及び一般管理費	△ 210		+0	△ 210
その他の営業収益（費用）	13		+0	13
<b>営業利益</b>	<b>983</b>	<b>+52</b>	<b>+19</b>	<b>1,054</b>
金融収支等	14			14
法人所得税	△ 262	△16	△6	△ 283
<b>四半期利益</b>	<b>735</b>	<b>+36</b>	<b>+13</b>	<b>784</b>
<b>EPS（円）</b>	<b>44.67</b>			<b>47.66</b>

## Non-Core調整

### ● 無形資産

償却費	+ 5億円
減損損失	+ 47億円

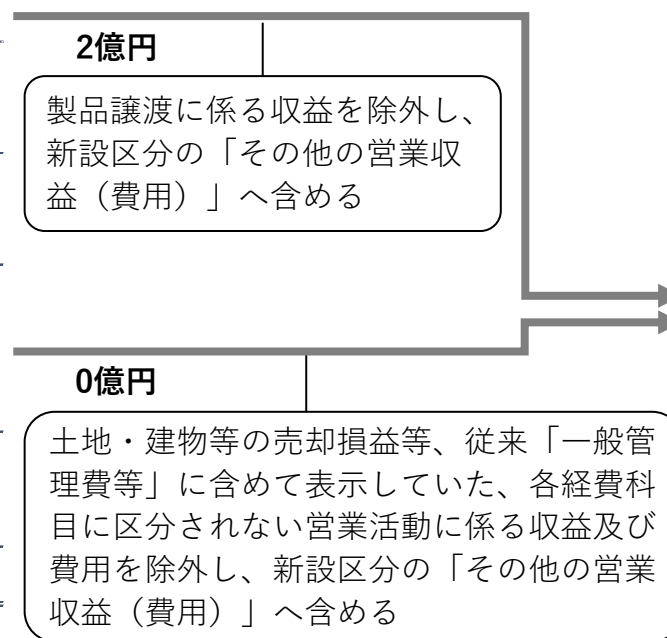
### ● その他

事業所再編費用等	+ 19億円
----------	--------

# 前年同期PLの表示変更と組替え

【億円】	2022年 実績
<b>売上収益</b>	<b>2,686</b>
製商品売上高	2,427
国内	1,617
海外	810
ロイヤルティ等収入及びその他の営業収入	259
ロイヤルティ及びプロフィットシェア収入	252
その他の営業収入	7
<b>売上原価</b>	<b>△ 1,141</b>
製商品原価率	47.0%
<b>経費計</b>	<b>△ 556</b>
販売費・一般管理費等	△ 227
研究開発費	△ 329
<b>営業利益</b>	<b>989</b>
営業利益率	36.8%
<b>当期利益</b>	<b>706</b>
<b>EPS (円)</b>	<b>42.91</b>

青字：表示変更



【億円】	2022年 実績
<b>売上収益</b>	<b>2,684</b>
製商品売上高	2,427
国内	1,617
海外	810
その他の売上収益	257
売上原価	△ 1,141
製商品原価率	47.0%
研究開発費	△ 329
販売費及び一般管理費	△ 227
その他の営業収益（費用）	2
<b>営業利益</b>	<b>989</b>
営業利益率	36.8%
<b>当期利益</b>	<b>706</b>
<b>EPS (円)</b>	<b>42.91</b>

# 損益 1-3月 前年同期比

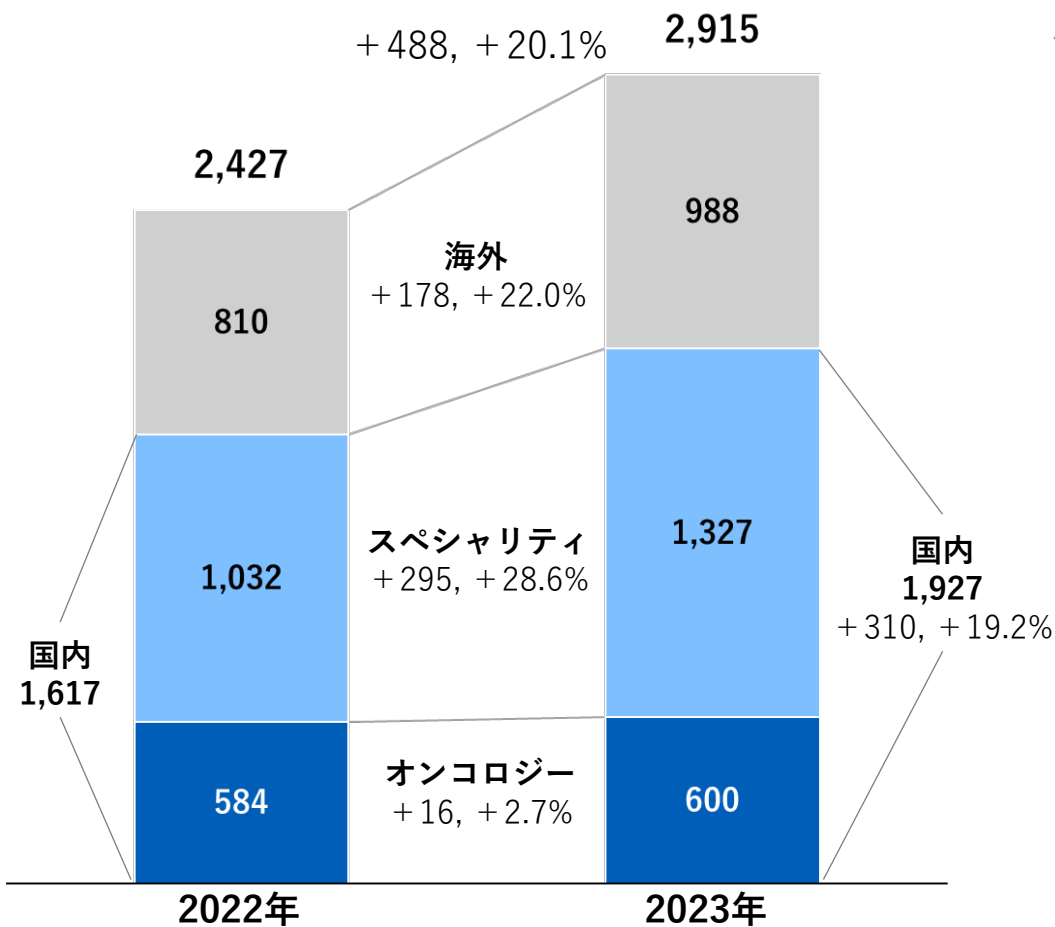
【億円】	2022年	2023年	増減	
売上収益	2,684	3,122	+ 438	+ 16.3%
製商品売上高	2,427	2,915	+ 488	+ 20.1%
国内	1,617	1,927	+ 310	+ 19.2%
海外	810	988	+ 178	+ 22.0%
その他の売上収益	257	207	△ 50	△ 19.5%
売上原価	△ 1,141	△ 1,510	△ 369	+ 32.3%
製商品原価率	47.0%	51.8%	+4.8%pts	-
研究開発費	△ 329	△ 361	△ 32	+ 9.7%
販売費及び一般管理費	△ 227	△ 210	+ 17	△ 7.5%
その他の営業収益（費用）	2	13	+ 11	+ 550.0%
営業利益	989	1,054	+ 65	+ 6.6%
営業利益率	36.8%	33.8%	△3.0%pts	-
金融収支等	△ 8	14	+ 22	-
法人所得税	△ 275	△ 283	△ 8	+ 2.9%
四半期利益	706	784	+ 78	+ 11.0%
EPS（円）	42.91	47.66	+ 4.75	+ 11.1%

- **国内**  
新製品や主力品の好調な推移により増加
- **海外**  
アレセンサおよびアクテムラが増加
- **その他の売上収益**  
ヘムライブラの初期出荷分に関するロイヤルティ収入の終了により減少
- **売上原価**  
製品別売上構成比の変化および為替影響等により、製商品原価率が上昇
- **研究開発費**  
中外ライフサイエンスパーク横浜の稼働を含む創薬・早期開発への投資や開発プロジェクトの進展等に伴い増加
- **販売費及び一般管理費**  
諸経費等が減少
- **その他の営業収益（費用）**  
有形固定資産の売却益等で収益が増加

# 製商品売上高 1-3月 前年同期比

領域別売上高の比較

【億円】



△ 35, △21.2%

△ 15, △45.5%

△ 6, △23.1%

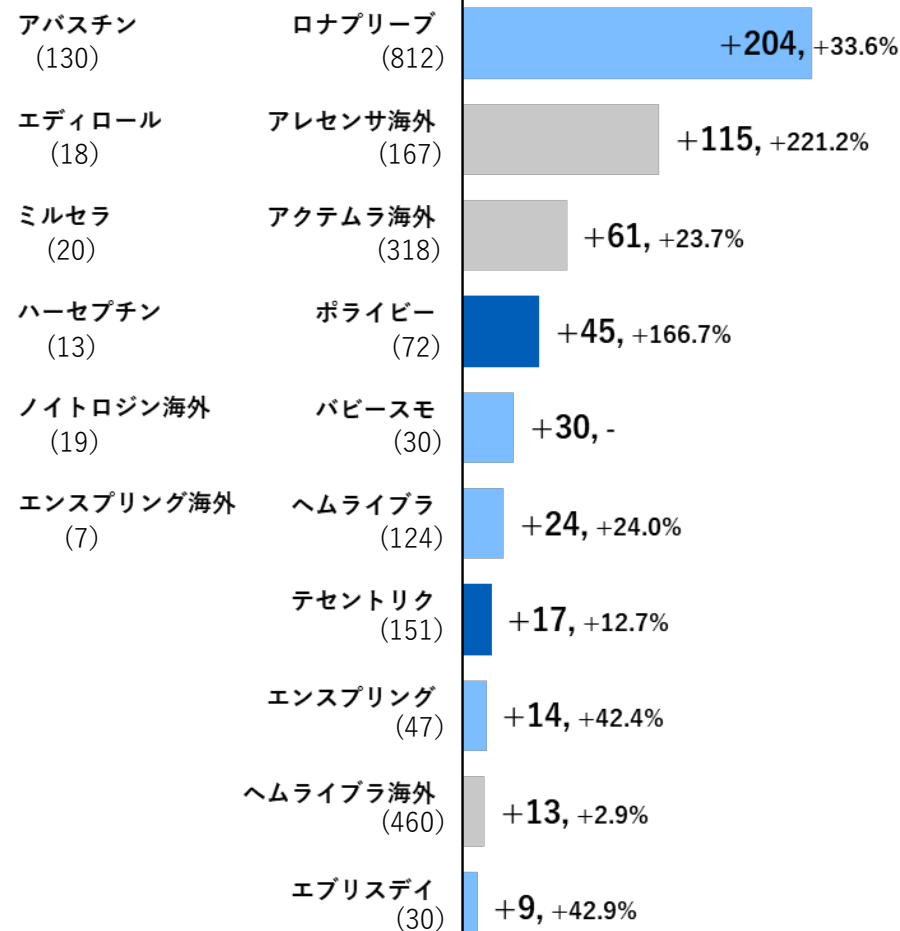
△ 5, △27.8%

△ 5, △20.8%

△ 5, △41.7%

主な製商品売上高の増減

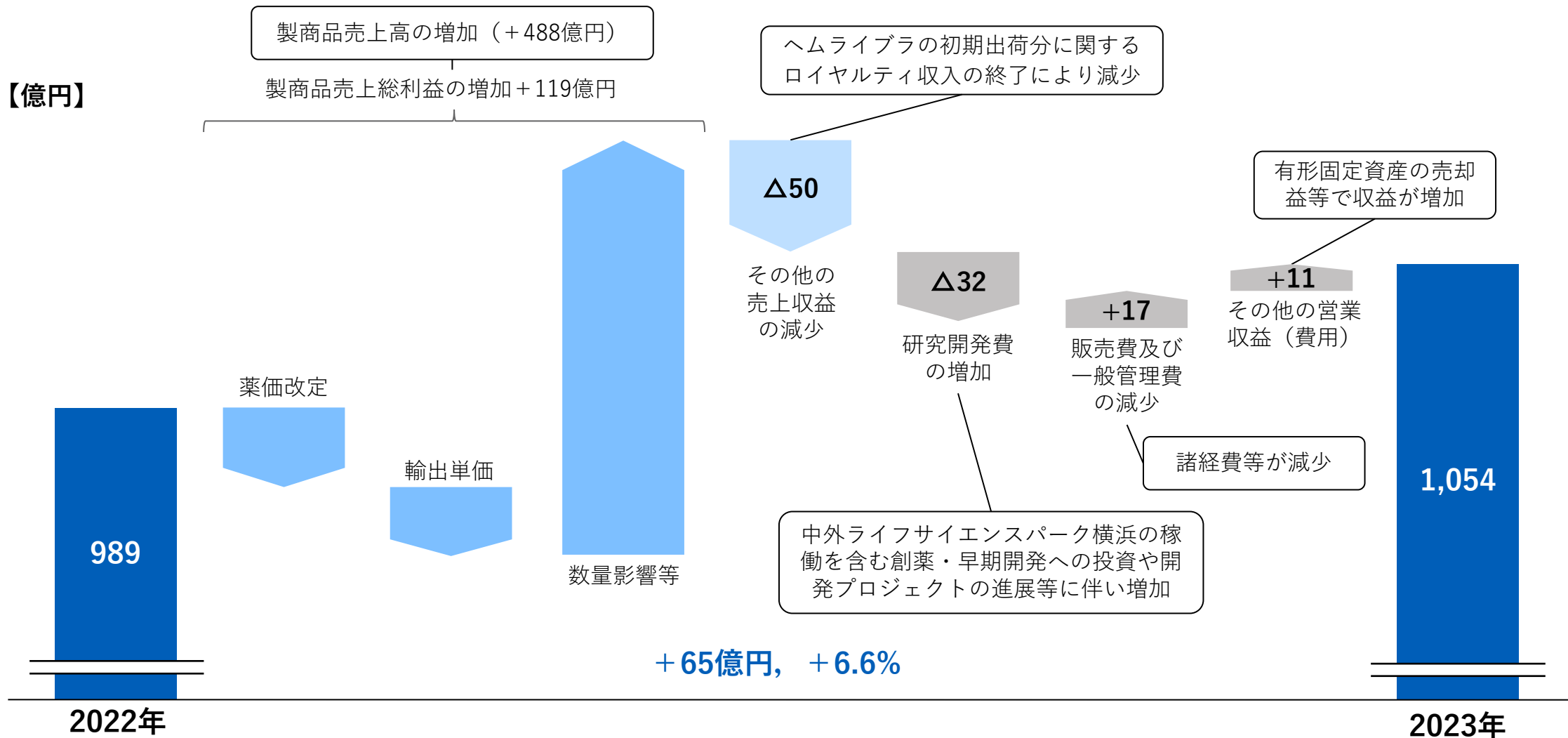
( )内は2023年実績 %は増減率





# 営業利益 1-3月 増減

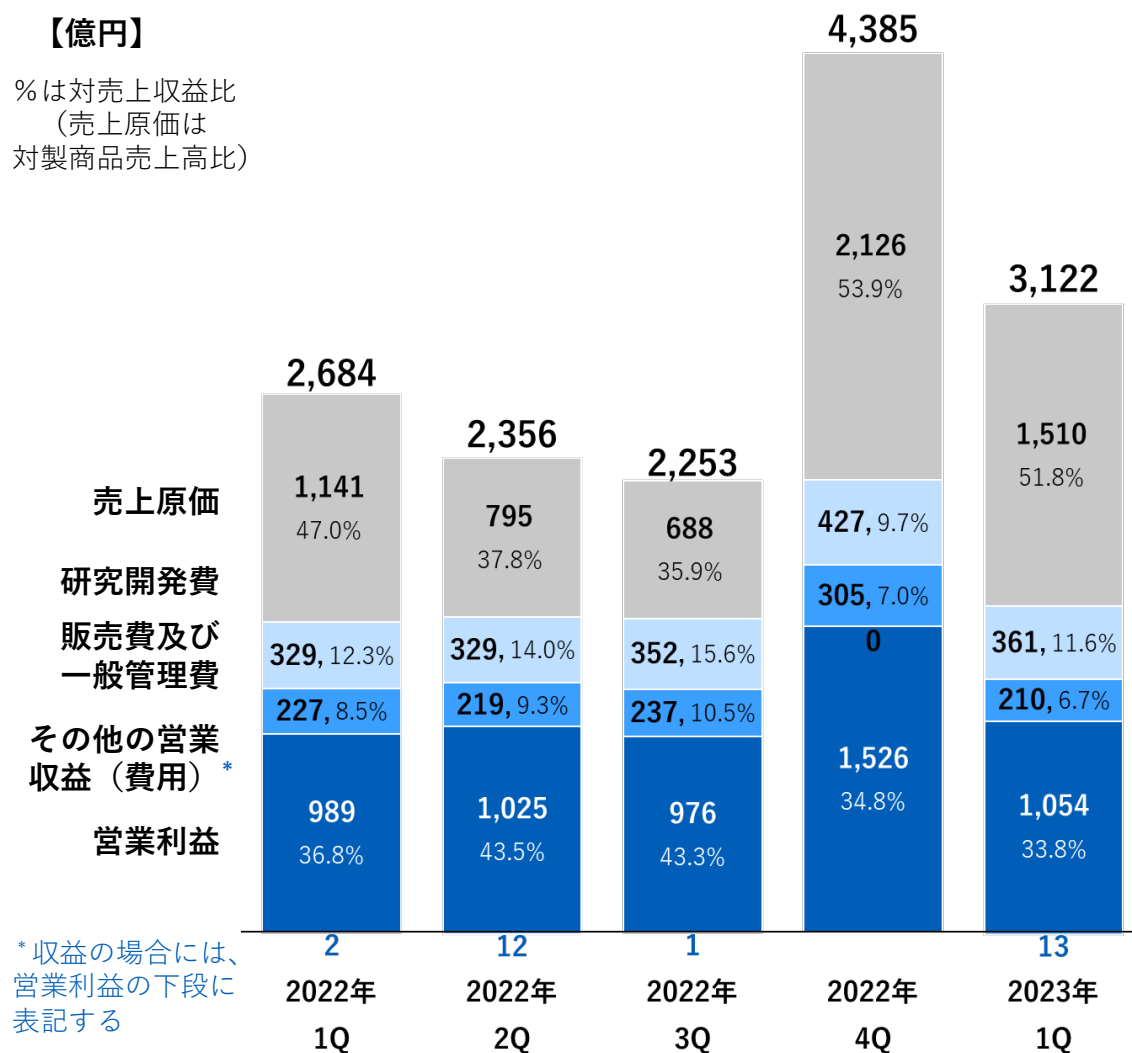
【億円】



# 損益の構成 四半期推移

【億円】

%は対売上収益比  
(売上原価は  
対製商品売上高比)



\* 収益の場合には、  
営業利益の下段に  
表記する

## ● 前年同期（2022年1Q）比

**原価率**は製品別売上構成比の変化および為替影響等により上昇

**研究開発費**は中外ライフサイエンスパーク横浜の稼働を含む創薬・早期開発への投資や開発プロジェクトの進展等に伴い増加

**販売費・一般管理費**は諸経費等が減少

**その他の営業収益（費用）**は有形固定資産の売却益等で収益が増加

**営業利益** +65億円, +6.6%

## ● 前四半期（2022年4Q）比

**原価率**は製品別売上構成比の変化等により改善

**研究開発費**は例年の傾向により減少

**販売費・一般管理費**は例年の傾向により減少

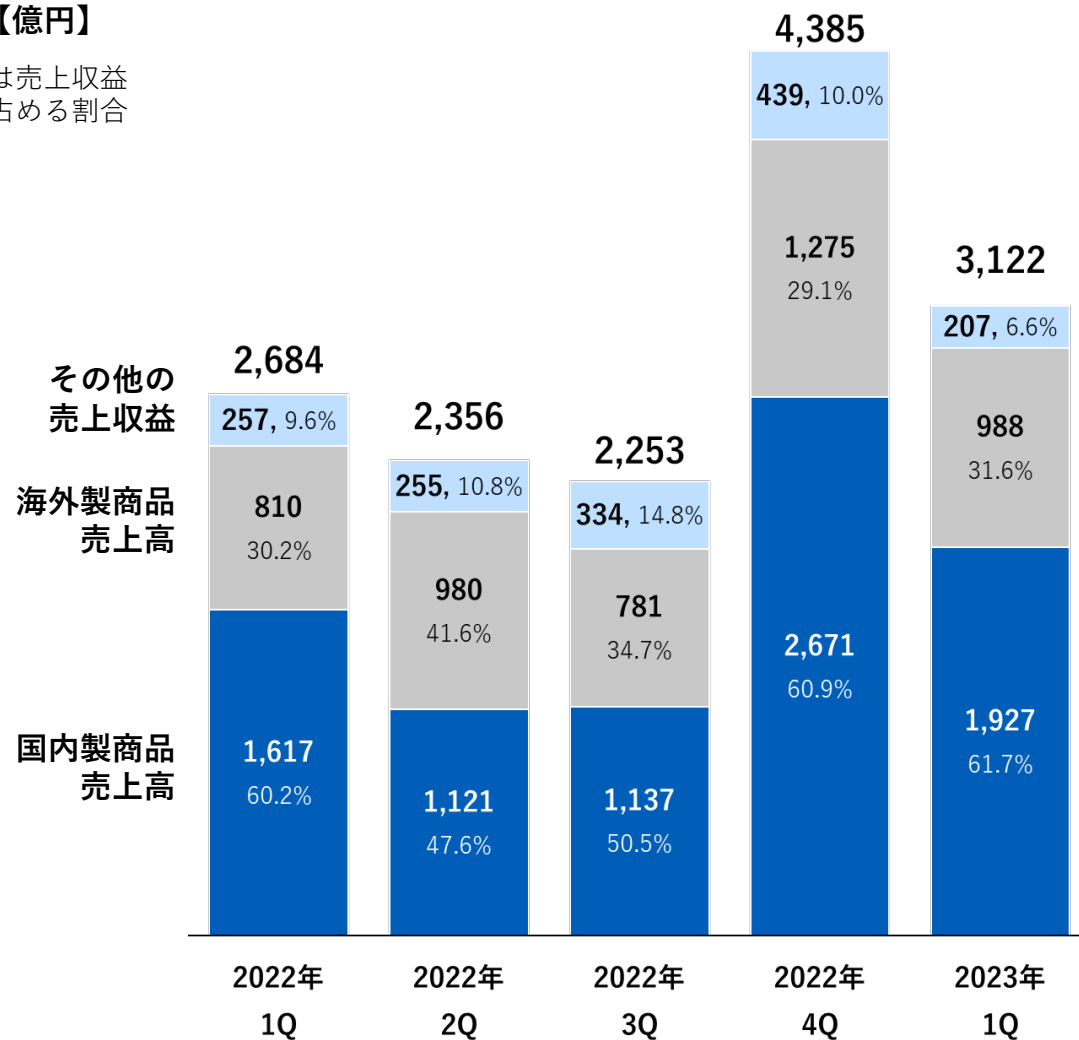
**その他の営業収益（費用）**は有形固定資産の売却益等で収益が増加

**営業利益** △472億円, △30.9%

# 売上収益の構成 四半期推移

【億円】

%は売上収益  
に占める割合



## ● 前年同期（2022年1Q）比

**国内**は新製品や主力品の好調な推移により大幅な増加

**海外**はアレセンサおよびアクテムラが増加

**その他の売上収益**はヘムライブラの初期出荷分に関するロイヤルティ収入の終了により減少

## ● 前四半期（2022年4Q）比

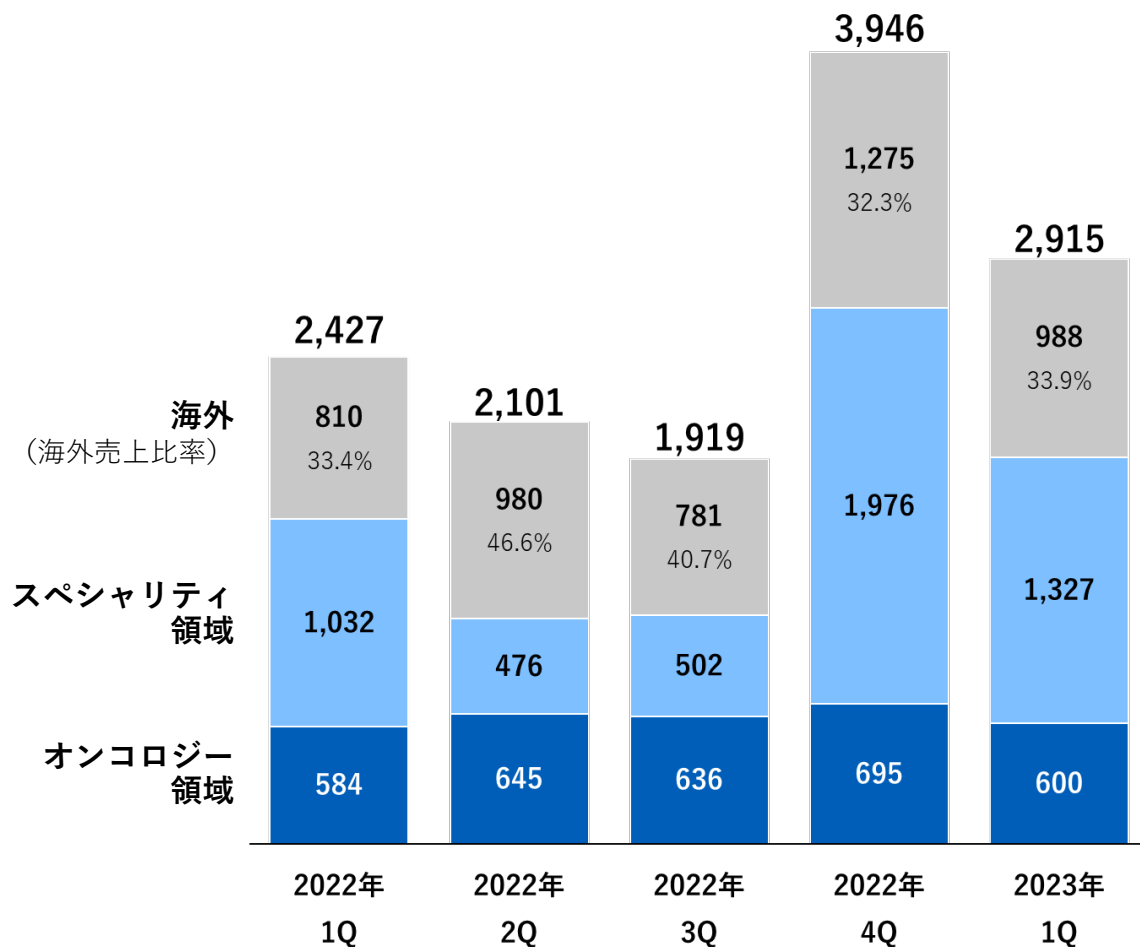
**国内**はロナプリーブおよび例年の傾向により大幅に減少

**海外**はアクテムラおよびヘムライブラが大幅に減少

**その他の売上収益**はヘムライブラおよびアレセンサに関する収入が減少

# 製商品売上高の構成 四半期推移

【億円】



## ● 前年同期（2022年1Q）比

### オンコロジー領域

ポライビー +45億円  
アバスチン △35億円

テセントリク +17億円

### スペシャリティ領域

ロナプリーブ +204億円  
ヘムライブラ +24億円  
エディロール △15億円

バビースモ +30億円  
エンズプリング +14億円

### 海外

アレセンサ +115億円  
ヘムライブラ +13億円

アクテムラ +61億円

## ● 前四半期（2022年4Q）比

### オンコロジー領域

アバスチン △36億円  
アレセンサ △14億円

テセントリク △20億円  
パージェタ △12億円

### スペシャリティ領域

ロナプリーブ △616億円  
アクテムラ △16億円

ヘムライブラ △17億円

### 海外

アクテムラ △185億円  
アレセンサ +32億円

ヘムライブラ △127億円

# 損益 1-3月 予想比

【億円】	実績	予想		2022年 進捗率*
	2023年 1-3月	2023年 1-12月	進捗率	
売上収益	3,122	10,700	29.2%	23.0%
製商品売上高	2,915	9,200	31.7%	23.4%
国内	1,927	5,417	35.6%	24.7%
海外	988	3,783	26.1%	21.1%
その他の売上収益	207	1,500	13.8%	20.0%
売上原価	△ 1,510	△ 4,050	37.3%	24.0%
製商品原価率	51.8%	44.0%	-	-
研究開発費	△ 361	△ 1,650	21.9%	22.9%
販売費及び一般管理費	△ 210	△ 1,000	21.0%	23.0%
その他の営業収益（費用）	13	150	8.7%	14.3%
営業利益	1,054	4,150	25.4%	21.9%
営業利益率	33.8%	38.8%	-	-
当期（四半期）利益	784	3,060	25.6%	22.2%
EPS（円）	47.66	186.00	25.6%	22.2%

## ● 国内

国内計としては概ね想定通りの進捗  
 （ロナプリーブを除く当年進捗率：24.2%  
 ロナプリーブを除く前年進捗率：22.4%）

## ● 海外

概ね想定通りの進捗

## ● その他の売上収益

概ね想定通りの進捗

## ● 売上原価

1-3月の製商品売上原価率としては概ね想定通り

## ● 研究開発費

概ね想定通りの進捗

## ● 販売費及び一般管理費

概ね想定通りの進捗

## ● その他の営業収益（費用）

概ね想定通りの進捗

\* 1-3月実績の通期実績に対する進捗率

# 製商品売上高 1-3月予想比

【億円】	実績	予想		2022年
	2023年 1-3月	2023年 1-12月	進捗率	進捗率*
製商品売上高	2,915	9,200	31.7%	23.4%
国内	1,927	5,417	35.6%	24.7%
オンコロジー領域	600	2,533	23.7%	22.8%
テセントリク	151	677	22.3%	22.0%
アバスチン	130	481	27.0%	24.4%
ポライビー	72	316	22.8%	17.4%
パージェタ	75	310	24.2%	22.9%
アレセンサ	66	282	23.4%	21.8%
カドサイラ	38	141	27.0%	22.7%
ハーセプチン	13	49	26.5%	25.4%
ガザイバ	8	45	17.8%	25.0%
リツキサン	9	37	24.3%	22.7%
Foundation Medicine	19	83	22.9%	22.5%
その他	19	112	17.0%	25.2%

【億円】	実績	予想		2022年
	2023年 1-3月	2023年 1-12月	進捗率	進捗率*
スペシャリティ領域	1,327	2,884	46.0%	25.9%
ロナプリーブ	812	812	100.0%	29.8%
ヘムライブラ	124	537	23.1%	20.3%
アクテムラ	99	443	22.3%	23.1%
エンスプリング	47	216	21.8%	19.8%
バビースモ	30	174	17.2%	0.0%
エブリスデイ	30	141	21.3%	18.3%
ミルセラ	20	76	26.3%	24.1%
セルセプト	16	67	23.9%	22.8%
エディロール	18	52	34.6%	29.5%
その他	131	367	35.7%	24.6%
海外	988	3,783	26.1%	21.1%
ヘムライブラ	460	1,852	24.8%	23.1%
アクテムラ	318	1,214	26.2%	19.7%
アレセンサ	167	504	33.1%	12.8%
エンスプリング	7	38	18.4%	42.9%
ノイトロジン	19	73	26.0%	27.6%
エディロール	0	5	0.0%	0.0%
その他	18	97	18.6%	22.6%

\*1-3月実績の通期実績に対する進捗率

# 為替影響額 1-3月



Roche ロシュグループ

	対2022年 実績レート	対2023年 想定レート
売上収益	+119億円	△13億円
製商品売上高	+105億円	△6億円
その他の売上収益	+14億円	△7億円
売上原価	△130億円	△0億円
上記以外*1	△9億円	△1億円
営業利益	△20億円	△14億円

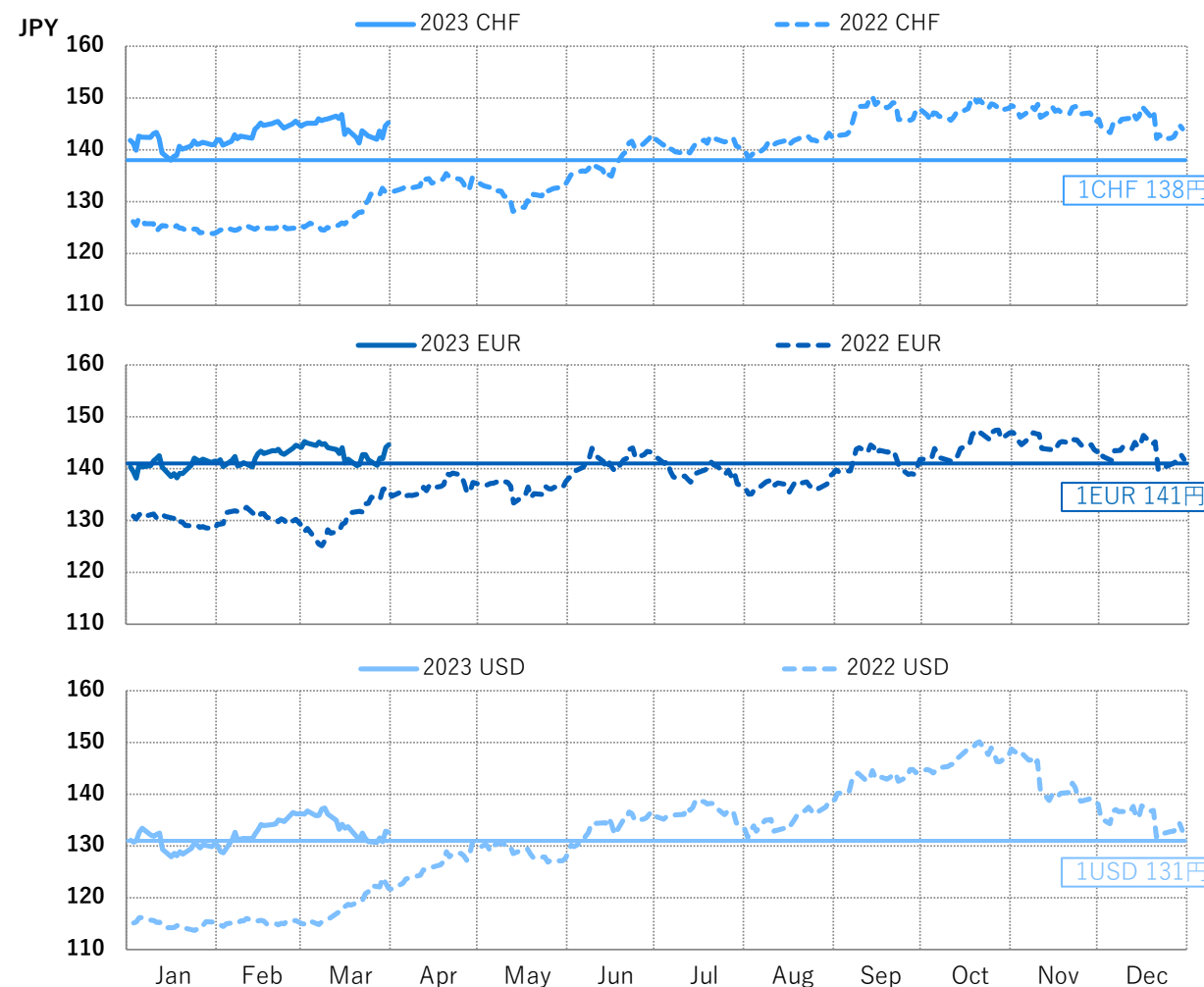
為替レート	2022年1-3月 実績レート*2	2023年1-3月 実績レート*2
1CHF	121.27円	137.05円
1EUR	130.68円	141.96円
1USD	111.13円	132.79円

\*1 研究開発費、販売費及び一般管理費、その他の営業収益（費用）の合計

\*2 営業利益までの科目に含まれる外貨建取引に使用した計上レートを加重平均したもの

## 市場為替レートの推移

2023年想定レート

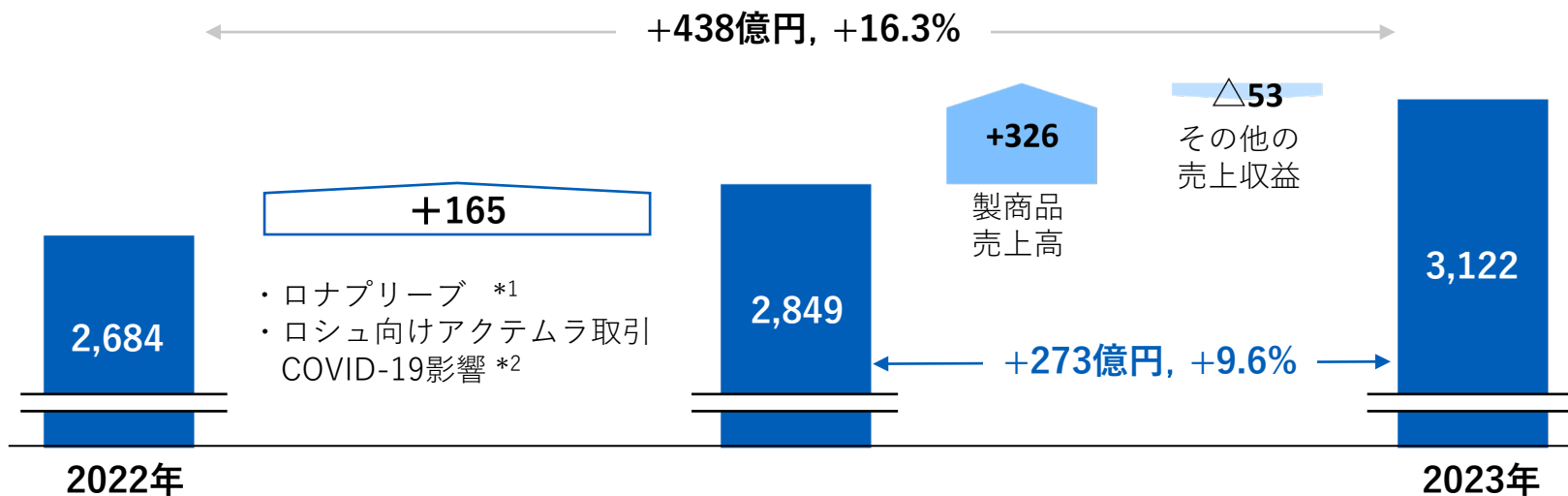




# 損益増減の分析 1-3月

## <売上収益>

【億円】



\*1 ロナプリーブ

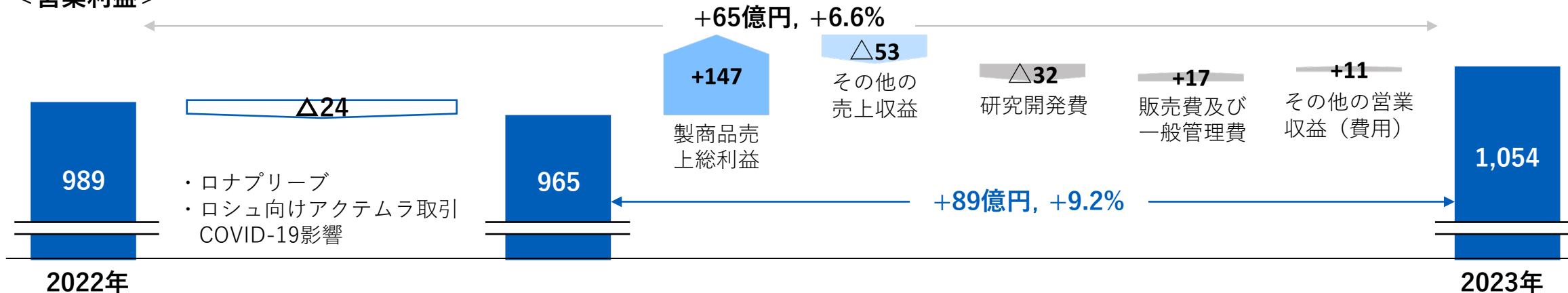
'22年1Q 売上	608億円
'23年1Q 売上	812億円
増減	+204億円

\*2 ロシュ向けアクテムラ取引 COVID-19影響

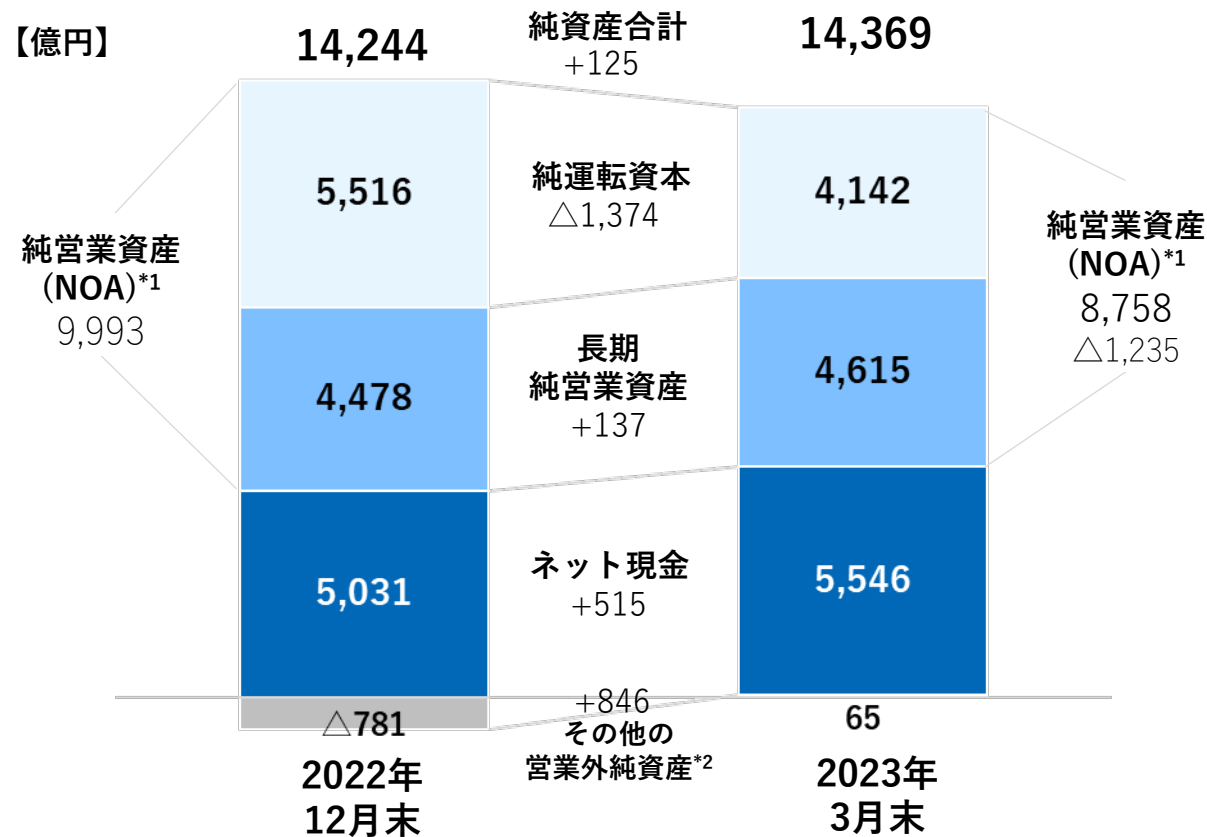
- ・ 静注製剤の輸出減少とロイヤルティ及びプロフィットシェア収入(ROY&PS)の減少をCOVID-19影響と見做す

'22年1Q 静注製剤 輸出・ROY&PS	127億円
'23年1Q 静注製剤 輸出・ROY&PS	88億円
増減	△39億円

## <営業利益>



# 財政状態 3月末 前期末比



資産合計	18,698	△978	17,720
負債合計	△4,454	+1,103	△3,351
純資産合計	14,244	+125	14,369
株主持分比率	76.2%	+4.9%pts	81.1%

● 純運転資本の減少

コロナプリーブ等の営業債権の減少など

● 長期純営業資産の増加

藤枝工場における合成原薬製造棟(FJ3)等への投資を主因として有形固定資産が増加

● ネット現金の増加

次ページ参照

● その他の営業外純資産の増加

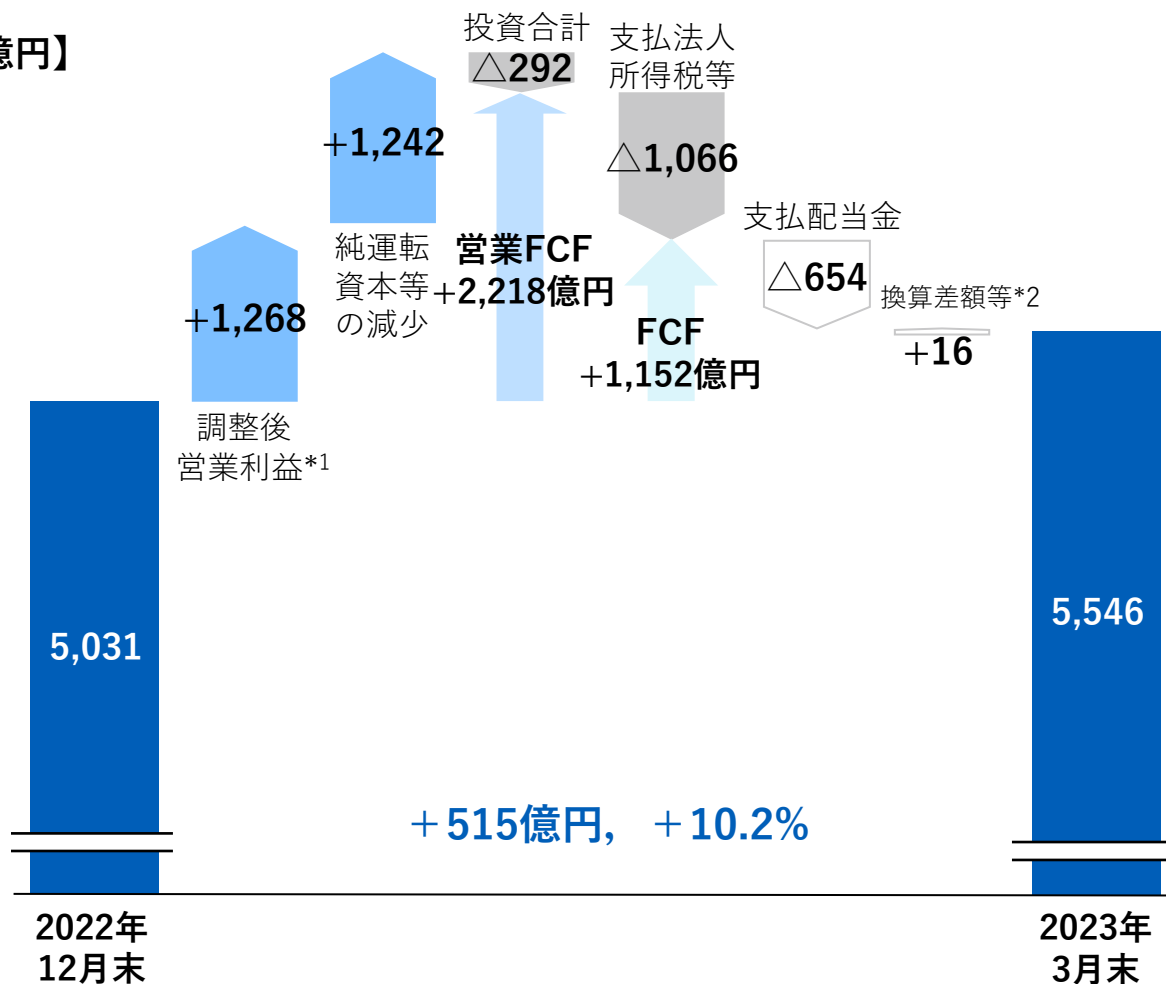
主に未払法人所得税の減少

\*1 NOA : Net Operating Assets

\*2 例：繰延税金資産、未払法人所得税等

# ネット現金 前期末からの増減

【億円】



● 調整後営業利益 *1	+1,268 億円
営業利益 *1	+983 億円
減価償却費、償却費および減損損失 *1	+134 億円
● 純運転資本等の減少	+1,242 億円
ロナプリーブの営業債権・債務および棚卸資産	+566 億円
● 投資合計	△292 億円
有形固定資産の取得による支出	△272 億円
リース負債の支払いによる支出	△20 億円
無形資産の取得による支出	- 億円
<b>営業フリー・キャッシュ・フロー</b>	<b>+2,218 億円</b>
● 支払法人所得税等	△1,066 億円
支払法人所得税	△956 億円
<b>フリー・キャッシュ・フロー</b>	<b>+1,152 億円</b>
● 支払配当金	△654 億円
● 換算差額等 *2	+16 億円

\*1 Non-Core含む (IFRS実績)

\*2 「換算差額等」 = 「自己株式の減少 (増加)」 + 「非支配持分の取得」 + 「ネット現金の換算差額 (\*3) 等」

\*3 在外子会社の財務諸表の換算レート (ネット現金: 期末日レート / FCF: 期中平均レート) の違いから発生 (IAS第7号・IAS第21号を参考に、当社が定義)

# 主な投資等の現状と当面の計画

2012年 | 2016年 2017年 2018年 2019年 2020年 2021年 2022年 2023年 2024年 2025年 2026年 2027年

製造系

藤枝工場：低・中分子医薬品のさらなる開発加速に向けた新合成原薬製造棟建設 (FJ2)

2019-22年：191億円 (199億円)

藤枝工場：低・中分子医薬品の後期開発用治験薬製造から初期商用生産を担う合成原薬製造棟建設 (FJ3)

2021-24年：555億円 (302億円)

浮間事業所：初期開発用治験薬製造を担うバイオ原薬製造棟建設 (UK4)

2021-23年：121億円 (52億円)

研究開発系

CPR (シンガポール)：抗体エンジニアリング技術を活用した開発候補品の創製を加速

2012-21年に476百万SGD (437百万SGD),  
うち設備投資61百万SGD (70百万SGD)

2022-26年に282百万SGD (75百万SGD),  
うち設備投資21百万SGD (4百万SGD)

中外ライフサイエンスパーク横浜：画期的な新薬候補創出のための最先端の研究開発拠点構築

事業用地購入 2016-18年：430億円

研究所建設 2019-22年：1,288億円 (1,239億円)

IFReCへの包括連携契約に基づく資金提供

2017-27年：100億円 (60億円)

環境

環境保全に関する投資：中期環境目標2030達成に向けた設備更新等

2022-2032年：試算額1,072億円 うち研究：196億円、製薬/生産：876億円

# 開発パイプラインの状況

上席執行役員 プロジェクト・ライフサイクルマネジメントユニット長

**山口 哲弥**

# Q1トピックス (1/2)

2023年4月27日現在

承認	アクテムラ/RG1569	入院中の成人COVID-19治療薬（台湾・輸入販売承認）	2023年4月
申請	アクテムラ/RG1569	悪性腫瘍治療に伴うサイトカイン放出症候群	2023年2月
	バビースモ	網膜静脈塞栓症（RVO）に伴う黄斑浮腫	2023年4月
パイプライン エントリー	ガザイバ	小児特発性ネフローゼ症候群	第III相（2023年3月）
	バビースモ	網膜色素線条	第III相（2023年3月）
	giredestrant	乳がん［一次～三次治療］（エベロリムスとの併用）	第III相（2023年4月）
	GYM329/RG6237	顔面肩甲上腕型筋ジストロフィー（FSHD）	第II相（2023年3月）
	SAIL66	CLDN6陽性固形がん	第I相（2023年4月）
トップライン発表	クロバリマブ/RG6107	ループス腎炎	第I相（2023年2月）
	クロバリマブ/RG6107	発作性夜間ヘモグロビン尿症（PNH） / COMMODORE1試験、COMMODORE2試験	2023年2月
	ネモリズマブ	アトピー性皮膚炎 / ARCADIA1試験、ARCADIA2試験	2023年3月

オレンジ：自社創製品（グローバル開発）、ブルー：ロシュ導入品（日本開発販売）

# Q1トピックス (2/2)

2023年4月27日現在

学会発表	バビースモ	BALATON試験およびCOMINO試験 (RVO) : Angiogenesis, Exudation, and Degeneration 2023	2023年2月
	ネモリズムブ	OLYMPIA 2試験 (結節性痒疹 (PN)) : 米国皮膚科学会	2023年3月
	テセントリク	IMbrave050試験 (肝細胞がん (アジュバント)) : 米国癌学会	2023年4月
論文発表	AMY109	非臨床薬効試験 : Science Translational Medicine	2023年2月
その他	エンズプリング / RG6168	先駆的医薬品指定 ・自己免疫介在性脳炎 (AIE) ・抗ミエリンオリゴデンドロサイト糖タンパク質抗体関連疾患 (MOGAD)	2023年3月
	バビースモ	希少疾病用医薬品指定 (新生血管を伴う網膜色素線条)	2023年3月
	gMSC®1	ツーセルとの膝軟骨再生細胞治療製品「gMSC®1」に関するライセンス契約の解消	2023年4月
開発中止	イパタセルチブ塩酸塩	前立腺がん [一次治療] (アビラテロン併用) / 第III相 (IPATential150試験)	
	テセントリク	腎細胞がん [二次治療] (カボザンチニブ併用) / 第III相 (CONTACT-03試験)	

オレンジ : 自社創製品 (グローバル開発) 、ブルー : ロシュ導入品 (日本開発販売) 、ブラック : その他



# 2023年 主要なR&Dイベント

下線・太字：2023年2月2日以降の新たな進捗

	開発品（製品）名	予定適応症 / 試験名	進捗状況
承認 予定品目	アクテムラ	全身性強皮症に伴う間質性肺疾患（欧州）	✓
	ヘムライブラ	血友病A（中等症）（欧州）	
	クロバリマブ	発作性夜間ヘモグロビン尿症（中国）	
	RG6264（PER/HER配合皮下注射剤）	HER2陽性乳がんおよび大腸がん	
P3/ピボタル試験 Readout	アレセンサ	ALINA試験：非小細胞肺癌（アジュバント）	✓
	クロバリマブ	<b>COMMODORE 1/2試験：発作性夜間ヘモグロビン尿症</b>	
	ネモリズマブ	<b>ARCADIA 1試験、ARCADIA 2試験：アトピー性皮膚炎</b>	✓
	テセントリク+アバスチン	IMbrave050試験：肝細胞がん（アジュバント）	✓
	テセントリク	<b>IMpassion030：早期乳がん（アジュバント）</b>	×
	テセントリク	IMvoke010試験：頭頸部がん（維持療法）	
	テセントリク+チラゴルマブ	SKYSCRAPER-01試験：非小細胞肺癌（一次治療）	
	mosunetuzumab + ポライビー	SUNMO試験*：r/r aNHL	
delandistrogene moxeparvovec	EMBARK試験：デュシェンヌ型筋ジストロフィー		

オレンジ：自社創製品（グローバル開発）、ブルー：ロシュ導入品（日本開発販売）

\*Readoutは2023年～2024年を予定

# クロバリマブ、ネモリズマブ 主要評価項目達成

自社創製の2つのプロジェクト、複数の第III相臨床試験で主要評価項目達成

## クロバリマブ

### COMMODORE 1試験、COMMODORE 2 試験 (PNH)

#### ➤ COMMODORE2試験

補体阻害剤による治療歴のないPNH患者を対象とした標準治療との非劣性検証比較試験 (COMMODORE 2試験) において、2つの主要評価項目を達成。標準治療に対する非劣性を検証

#### 【2つの主要評価項目】

- ✓ 輸血回避
- ✓ 溶血コントロール (LDH値；進行中の赤血球破壊)

#### ➤ COMMODORE1試験

既存の補体阻害剤からクロバリマブに切り替えたPNH患者を対象としたP3試験 (COMMODORE 1試験) においても、有効性および安全性において、COMMODORE 2試験の良好なベネフィット・リスクプロファイルを支持

- COMMODORE 1/2 試験について、EHA2023で発表予定
- 中国で実施のCOMMODORE3試験の結果により中国申請中

## ネモリズマブ

### ARCADIA 1試験、ARCADIA 2試験 (アトピー性皮膚炎)

中等症～重症のアトピー性皮膚炎 (思春期～成人) を対象とするARCADIA 1試験、ARCADIA 2試験ともに、主要評価項目、主な副次評価項目を達成

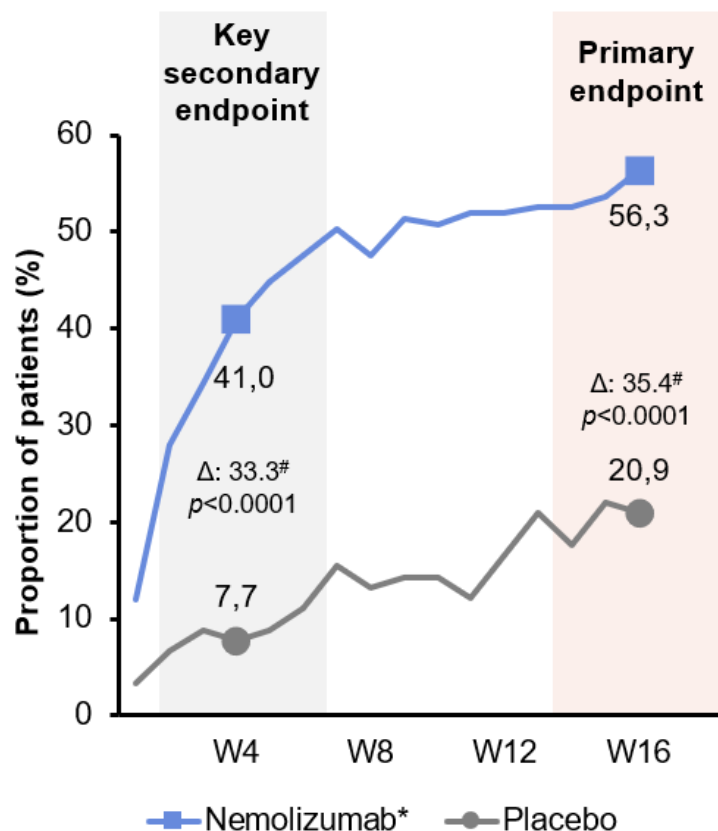
- ネモリズマブとTCS (ステロイド外用薬) との併用についてプラセボ比較で評価。4週間ごとに皮下投与
- 皮膚病変、かゆみ、睡眠障害を改善
- 2023年後半の学会で発表、2024年下期に米国上市予定

### OLYMPIA 1試験、OLYMPIA 2試験 (結節性痒疹)

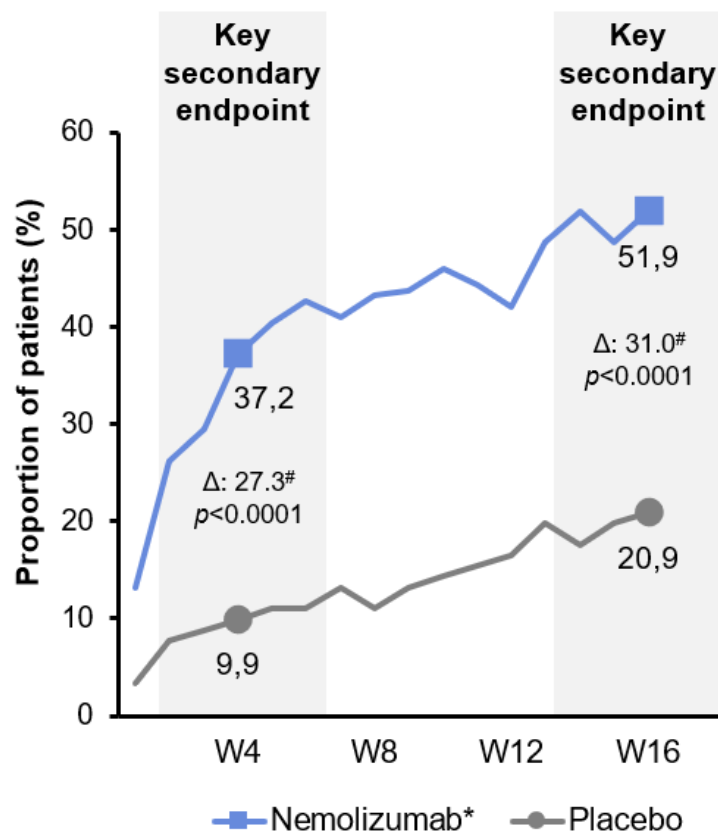
- OLYMPIA 2試験で主要評価項目と副次評価項目すべてを達成。もう一つのOLYMPIA 1試験も順調に進捗
- OLYMPIA 2試験の詳細は次項
- 2024年下期上市予定 (米国)

# 痒み、睡眠障害、皮膚病変の有意な改善を達成（4週及び16週）

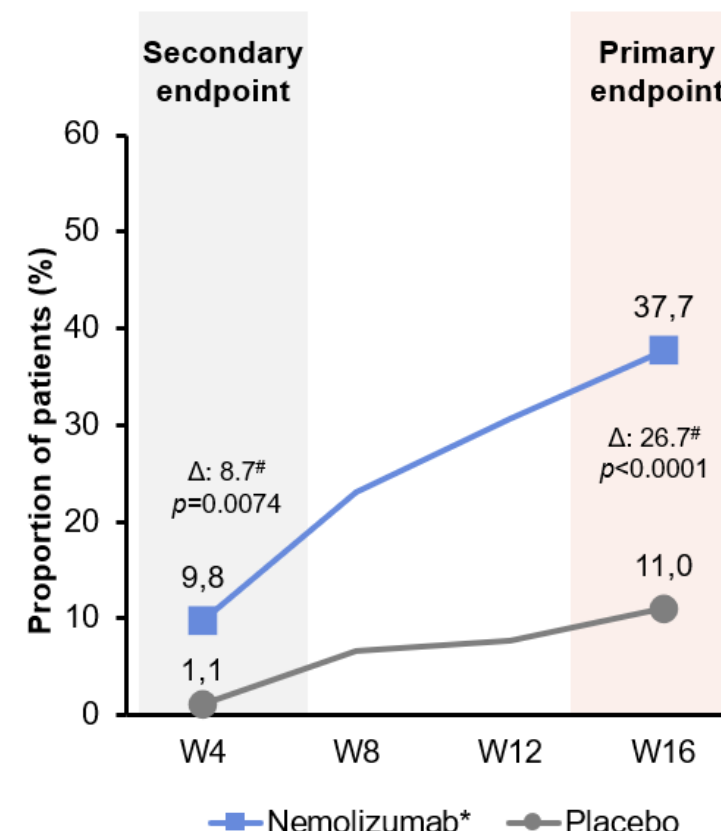
≥4-point improvement in PP-NRS†  
(ITT population)



≥4-point improvement in SD-NRS†  
(ITT population)



IGA success†  
(ITT population)



CMH, Cochran-Mantel-Haenszel; ITT, intention-to-treat; PP-NRS, peak pruritus Numerical Rating Scale; SD-NRS, sleep disturbance Numerical Rating Scale; W, week

Baseline was defined as the last non-missing weekly value before the first dose of the study drug.

Data presented here are of non-responder imputation (missing result at a visit was considered non-response).

If a subject received any rescue therapy, the data at/after receipt of rescue therapy were considered of non-responders.

\*Nemolizumab is an investigational drug and Galderma has not received approval for any indication in any country.

† Weekly average PP-NRS/SD-NRS score was considered, and the values were calculated as average of 7 consecutive days data up to the target study day (excluding) and set to missing if <4 days data are available.

#Unadjusted proportion differences are presented. Unadjusted p-values for between-group comparisons are from the CMH test.

American Academy of Dermatology Annual Meeting (March 17-21) 発表資料より引用  
無断転載禁止

# 自社創製品の2022年売上とクロバリマブ・ネモリズマブの市場性

## 2022年売上

### アクテムラ®

- 2005年発売
- 全世界で売上2,701mCHF\*

### アレセンサ®

- 2014年発売
- 全世界で売上1,513mCHF\*

### ヘムライブラ®

- 2018年発売
- 全世界で売上3,823mCHF\*

### インスプリング®

- 2020年発売
- 全世界で売上192mCHF\*

\*ロシュ社決算資料より

## クロバリマブ関連市場 (2028年)

PNH :  
3,090mUSD

PNH  
12,500人 

SCD :  
3,876mUSD

aHUS : 1,652mUSD

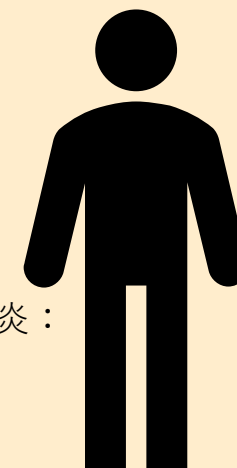
2023年上期日米欧PNHで申請予定。少量の皮下投与、自己注製剤で自宅投与も可能に。投与時間も低減し、患者さんや医療現場へのベネフィット提供を目指す

## ネモリズマブ関連市場 (2028年)

アトピー性皮膚炎 :  
20,543mUSD

結節性痒疹 :  
市場データなし

アトピー性皮膚炎 :  
4,805万人  
結節性痒疹 :  
データなし



2024年下期米国上市予定。IL-31受容体A阻害により強力かつ速やかにそう痒を抑制するため、患者さんのQOLの早期改善が期待。複数の第III相臨床試験で、皮膚炎の有意な改善効果も確認。他剤にはない特徴で差別化を目指す

# 今後の申請予定 (PoC取得済開発品・製品)

2023年4月27日現在

申請中

★ アクテムラ (MRA/RG1569) 悪性腫瘍治療に伴う サイトカイン放出症候群	★ バビースモ (RG7716) 網膜静脈閉塞症
アクテムラ (MRA/RG1569) SSc-ILD(欧州)	RG6264 (配合剤, 皮下注) 乳がん/大腸がん

クロバリマブ (SKY59/RG6107) PNH (中国)
-----------------------------------

新規 適応拡大 ★ 新規追加 ★ 申請年変更 \*PoC取得前

自社創製品 (グローバル開発) ■ ■  
 ロシュ導入品 (日本開発販売) □ □

	SRP-9001 (RG6356) DMD	テセントリク (RG7446) 頭頸部がん(維持療法)	★ バビースモ (RG7716) 網膜色素線条	GYM329/RG6237 ★ FSHD*	★ ガザイバ (RG7159) 小児特発性ネフローゼ症候群
テセントリク+アバスチン (RG7446+RG435) 肝細胞がん(アジユバント)	mosunetuzumab (RG7828) 3L 濾胞性リンパ腫	テセントリク (RG7446) NSCLC (ネアジユバント)	★ giredestrant (RG6171) 1L~3L 乳がん	★ エンスプリング (SA237/RG6168) MOGAD	ガザイバ (RG7159) ループス腎炎
チラゴルマブ (RG6058) 1L NSCLC (テセントリク併用)	チラゴルマブ+テセントリク (RG6058+RG7446) ★ 1L NSQ NSCLC	アバスチン (RG435) 1L SCLC (テセントリク併用)	チラゴルマブ+テセントリク (RG6058+RG7446) 食道がん	アレンセンサ (AF802/RG7853) NSCLC (ステージ III)	giredestrant (RG6171) 1L 乳がん
アレセンサ (AF802/RG7853) NSCLC (アジユバント)	チラゴルマブ+テセントリク (RG6058+RG7446) NSCLC (ステージ III)	テセントリク (RG7446) 早期乳がん(ネアジユバント)	エンスプリング (SA237/RG6168) 自己免疫介在性脳炎	GYM329/RG6237 脊髄性筋萎縮症* (エブリスディ併用)	giredestrant (RG6171) 乳がん (アジユバント)
クロバリマブ (SKY59/RG6107) PNH	エンスプリング (SA237/RG6168) 全身型重症筋無力症	テセントリク (RG7446) MIBC (アジユバント)	★ クロバリマブ (SKY59/RG6107) ★ aHUS	クロバリマブ (SKY59/RG6107) 鎌状赤血球症* (米国・欧州)	mosunetuzumab (RG7828) 2L濾胞性リンパ腫
			mosunetuzumab+ホライビ- (RG7828+RG7596) ★ r/r aNHL		

2023年

2024年

2025年

2026年以降

# Appendix



Roche ロシュ グループ

# 開発パイプライン (1/2)



2023年4月27日現在

	Phase I	Phase II	Phase III	Filed	
がん	<b>LUNA18</b> - 固形がん	<b>RG7421 / コレチニ ブ フマル酸塩</b> - 固形がん	<b>RG6396 / プ ラル セチニブ 水和物</b> - NSCLC (2L) - 固形がん	<b>AF802 (RG7853) / アレセンサ</b> - NSCLC (アジュバント) - NSCLC(ステージ III)CRT後維持 療法	<b>RG6058 / チラゴ ルマブ +RG7446 / テセントリク</b> - NSCLC (1L) - NSCLC (ステージ III) - NSQ NSCLC(1L) - 食道がん
	<b>GC33 / codrituzumab</b> - 肝細胞がん	<b>RG7802 / cibisatamab</b> - 固形がん		<b>RG7446 / テセントリク</b> - NSCLC (ネオアジュバント) - 筋層浸潤性膀胱がん (アジュバ ント)	<b>RG6171 / giredestrant</b> - 乳がん (アジュバント) - 乳がん(1L) - 乳がん(1L~3L) ★
	<b>ERY974</b> - 固形がん	<b>RG6026 / glofitamab</b> - 血液がん		- 早期乳がん (アジュバント) - 早期乳がん (ネオアジュバント) - 肝細胞がん (2L) - 頭頸部がん (維持療法) - 前立腺がん (2L)	<b>RG7828 / mosunetuzumab</b> - 濾胞性リンパ腫 (2L)
	<b>STA551</b> - 固形がん	<b>RG6194 / runimotamab</b> - 固形がん		<b>RG7446 / テセントリク +RG435 / アバ スチン</b> - SCLC (1L) - 肝細胞がん (アジュバント) - 肝細胞がん (intermediate ステ ージ)	<b>RG7828 / mosunetuzumab +RG7596 / ホ ラビ -</b> - r/r aNHL
	<b>SOF10 (RG6440)</b> - 固形がん	<b>RG6330 / KRAS G12C阻害剤</b> - 固形がん			<b>RG6396 / プ ラルセチニブ 水和物</b> - NSCLC (1L)
	<b>SPYK04</b> - 固形がん	<b>RG6433 / SHP2 阻害剤</b> - 固形がん			
	<b>ALPS12 (RG6524)</b> - 固形がん	<b>RG6160 / cevostamab</b> - r/r MM			
	<b>SAIL66</b> - CLDN6陽性固形がん ★				<b>MRA(RG1569)/アケテムラ</b> - 悪性腫瘍治療に伴う サイトカイン放出症候 群 ★
	<b>RG7828 / mosunetuzumab</b> - 濾胞性リンパ腫 (3L)				

各相の臨床試験は、原則として投与の開始をもって試験開始としています。★：2023年2月2日からの変更点

オレンジ：自社創製品（グローバル開発） ブルー：ロシュ導入品（日本開発販売）



# 開発パイプライン (2/2)



2023年4月27日現在

	Phase I	Phase II	Phase III	Filed
免疫疾患	<b>DONQ52</b> - セリアック病 <b>RAY121</b> - 自己免疫疾患	<b>SKY59 (RG6107)/                      クロバリマブ</b> - ループス腎炎 ★	<b>RG7159 / ガザイバ</b> - ループス腎炎 - 小児特発性ネフローゼ症候群 ★	<b>MRA(RG1569)/                      アクテムラ (欧州)</b> - SSc-ILD
神経疾患	<b>RG7935 / prasinezumab</b> - パーキンソン病 <b>RG6100/ semorinemab</b> - アルツハイマー病 <b>RG6102/trontinemab</b> - アルツハイマー病	<b>GYM329 (RG6237)</b> - 脊髄性筋萎縮症 (エブリスティ併用) (PII/III) - FSHD ★ <b>RG7906 / ralmitaront</b> - 統合失調症 <b>RG6042 / トミネセン</b> - ハンチントン病	<b>SA237 (RG6168)                      / エンスプリング</b> - 全身型重症筋無力症 - MOGAD - 自己免疫介在性 脳炎	<b>SRP-9001(RG6356) /                      delandistrogene                      moxeparovec</b> - デュシェンヌ型筋ジストロフィー (DMD)*
血液疾患	<b>NXT007 (RG6512)</b> - 血友病A (PI/II)	<b>SKY59 (RG6107)/                      クロバリマブ (米国・欧州)</b> - SCD	<b>SKY59 (RG6107)/ クロバリマブ</b> - PNH - aHUS	<b>SKY59 (RG6107)/                      クロバリマブ (中国)</b> - PNH
眼科	<b>RG6321 / PDS</b> - 加齢黄斑変性 (PI/II) - 糖尿病黄斑浮腫 (PI/II)		<b>RG7716 / バビースト</b> - 網膜色素線条 ★	<b>RG7716 / バビースト</b> - 網膜静脈閉塞症 ★
その他	<b>AMY109</b> - 子宮内膜症			

各相の臨床試験は、原則として投与の開始をもって試験開始としています。 \*サレプタ社が日本を含むグローバルでの臨床試験を主導 ★：2023年2月2日からの変更点

オレンジ：自社創製品（グローバル開発） ブルー：ロシュ導入品（日本開発販売）



# 第三者導出プロジェクトの進展

★：2023年2月2日からの主な変更点

2023年4月27日現在

開発コード/一般名 (導出先コード)	作用機序	導出先	導出先の権利範囲	予定適応症	開発ステージ	プロジェクトの状況
CKI27 (VS-6766)/ avutometinib	RAF/MEK 阻害剤	Verastem Oncology	全世界の製造・開発・ 販売の独占的实施権	卵巣がん	海外：第II相	● 米国FDA BT指定（再発LGSOC、defactinibとの併用）
				非小細胞 肺がん	海外：第II相	—
					海外：第I/II相	● RAMP 203 trial (KRAS G12C NSCLC、sotorasibとの併用) 開始 ● RAMP 204 trial (KRAS G12C 阻害薬 adagrasibとの併用) 開始
CIM331/ ネモリズマブ	抗IL-31RA ヒト化モノクローナル 抗体	海外 (Galderma) 国内(マルホ)	<Galderma> 日本、台湾を除く全世界の 開発・販売の独占的实施権 <マルホ> 国内の皮膚科疾患領域 における開発・販売の 実施権	アトピー性皮膚 炎に伴うそう痒	海外：第III相 国内：承認	● 2つのP3試験で主要評価項目達成 ★ ● アトピー性皮膚炎に伴うそう痒 承認取得
				結節性痒疹	海外：第III相	● 米国FDA BT指定 ● 2つのP3試験のうちの1つで主要評価項目達成
					国内：第II/III相	—
				慢性腎臓病に伴 うそう痒	海外：第II/III相	—
OWL833 (LY3502970)/ orforglipron	非ペプチド 型経口 GLP-1受容 体作動薬	Eli Lilly and Company	全世界の開発・販売権	2型糖尿病	海外：第II相	● P2試験（OWL833を26週間投与）結果 ✓ 最大2.1%の用量依存的なHbA1cの低下と最大9.6%の用量依存的な体重減少が認められた
				肥満症	海外：第II相	● P2試験（OWL833を36週間投与）予備解析結果 ✓ 約14%~15%の体重減少を達成することが推定された

# FoundationOne CDx がんゲノムプロファイル –コンパニオン診断機能の状況–

2023年4月27日現在

遺伝子変異等	がん種	関連する医薬品
活性型EGFR遺伝子変異	非小細胞肺癌	アファチニブマレイン酸塩、エルロチニブ塩酸塩、ゲフィチニブ、オシメルチニブメシル酸塩、ダコミチニブ水和物
EGFRエクソン20 T790M変異		オシメルチニブメシル酸塩
ALK融合遺伝子		アレクチニブ塩酸塩、クリゾチニブ、セリチニブ、ブリグチニブ
ROS1融合遺伝子		エヌトレクチニブ
MET遺伝子エクソン14スキッピング変異		カプマチニブ塩酸塩水和物
BRAFV600E及びV600K変異	悪性黒色腫	ダブラフェニブメシル酸塩、トラメチニブジメチルスルホキシド付加物、ベムラフェニブ、エンコラフェニブ、ビニメチニブ
ERBB2コピー数異常（HER2遺伝子増幅陽性）	乳癌	トラスツズマブ（遺伝子組換え）
KRAS/NRAS野生型	結腸・直腸癌	セツキシマブ（遺伝子組換え）、パニツムマブ（遺伝子組換え）
高頻度マイクロサテライト不安定性		ニボルマブ（遺伝子組換え）
高頻度マイクロサテライト不安定性	固形癌	ペムブロリズマブ（遺伝子組換え）
腫瘍遺伝子変異量高スコア		ペムブロリズマブ（遺伝子組換え）
NTRK1/2/3融合遺伝子		エヌトレクチニブ、ラロトレクチニブ硫酸塩
BRCA1/2遺伝子変異	卵巣癌	オラパリブ
BRCA1/2遺伝子変異	前立腺癌	オラバリブ
FGFR2融合遺伝子	胆道癌	ペミガチニブ

# FoundationOne Liquid CDx がんゲノムプロファイル

## ーコンパニオン診断機能の状況ー

2023年4月27日現在

遺伝子変異等	がん種	関連する医薬品
活性型 <i>EGFR</i> 遺伝子変異	非小細胞肺癌	アファチニブマレイン酸塩、エルロチニブ塩酸塩、ゲフィチニブ、オシメルチニブメシル酸塩
<i>EGFR</i> エクソン20 T790M変異		オシメルチニブメシル酸塩
<i>ALK</i> 融合遺伝子		アレクチニブ塩酸塩、クリゾチニブ、セリチニブ
<i>ROS1</i> 融合遺伝子		エヌトレクチニブ
<i>MET</i> 遺伝子エクソン14スキッピング変異		カプマチニブ塩酸塩水和物
<i>NTRK1/2/3</i> 融合遺伝子	固形がん	エヌトレクチニブ
<i>BRCA1/2</i> 遺伝子変異	前立腺癌	オラパリブ

\*下線：現在申請中のコンパニオン診断機能および対応薬剤

## 開発パイプラインの状況

# GYM329：顔面肩甲上腕型筋ジストロフィー（FSHD）

## MANOEUVRE：国際共同第II相試験

GYM329は、FSHDにおける筋成長を促進することにより、運動機能を維持・改善することが期待される

**FSHD**：顔面，肩，上腕の筋肉変性と筋力低下を特徴とする遺伝性筋疾患である。進行すると下肢の筋力低下も生じる。

- DUX4遺伝子の異常活性化が原因とされる。
- 罹病率は人口8000人当たり1人程度とされ，筋ジストロフィーの中では頻度の高い疾患である。
- 発症は幼児期から成人期後期まで起こり得るが，典型的には10歳代又は20歳代で起こる。
- 約20%は歩行不能となり，車いすなどが必要になる。
- 承認された疾患修飾薬はない。

*Trends Mol Med. 2021 Feb;27(2):123-137.*

### MANOEUVRE試験の概要

**対象疾患：FSHD**  
18-65歳，歩行可能

目的：安全性、忍容性、有効性、PK/PD

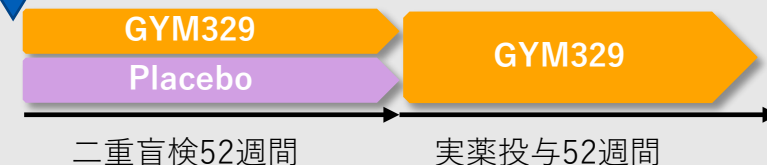
被験者数：~48名

試験期間：二重盲検52週間後、実薬投与52週間

治験薬：GYM329 or プラセボ\*

主要評価項目：二重盲検52週間後の筋肉の変化量、安全性

無作為割付



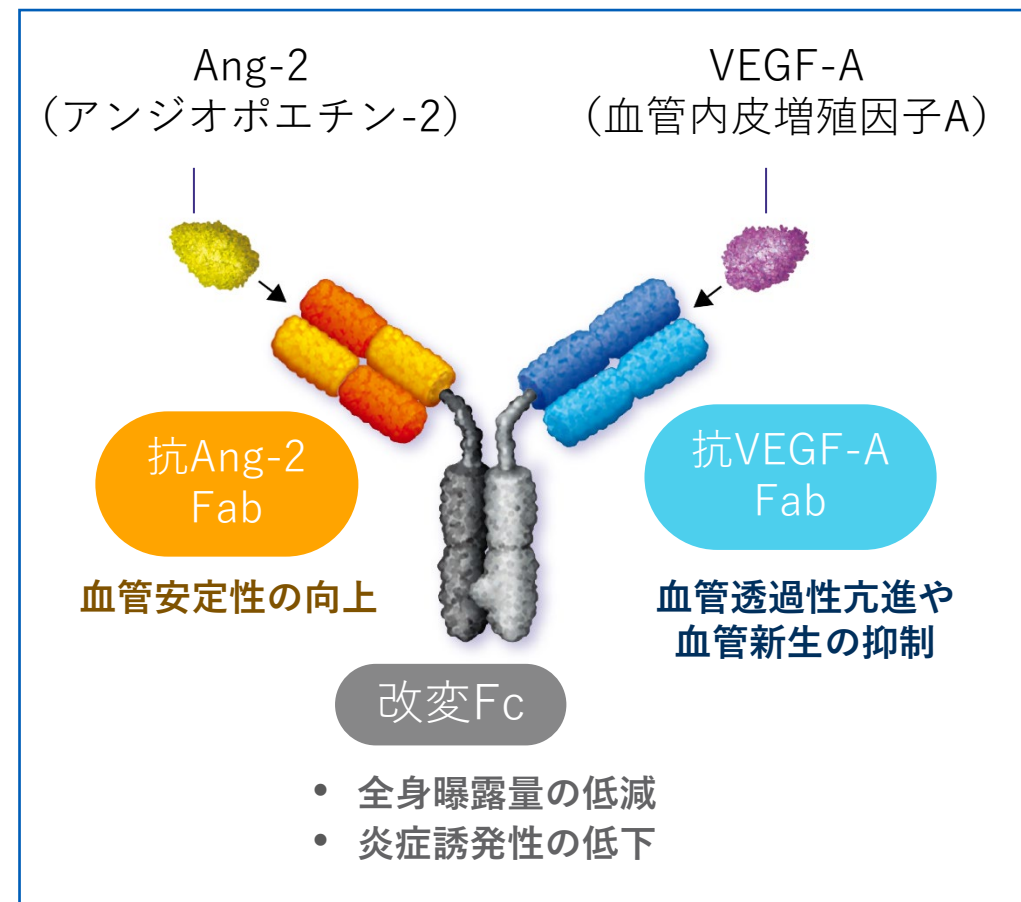
\* GYM329/プラセボ投与方法：4週間に1回、皮下投与

# バビースモ：網膜色素線条

## 網膜色素線条に対する国内臨床試験開始・希少疾病用医薬品に指定

- 網膜色素線条はBruch膜の断裂によって特徴的な線条が眼底にみられる疾患。弾性線維性仮性黄色腫のような全身性に弾力繊維の脆弱性を来す先天性疾患を有していることが多く、中心窩に脈絡膜新生血管が発生した場合の視力予後は不良\* 1。国内において承認されている治療薬は無い
- 国内の患者数は約350～510人（患者数／年）と推測
- VEGF-A及びAng-2に選択的に結合する眼科領域初のバイスペシフィック抗体であるファリシマブの新生血管を伴う網膜色素線条患者を対象とした国内第III相臨床試験を開始
- 希少疾病用医薬品（オーファンドラッグ）に指定（2023年3月27日付）

1. Chatziralli I, et al, Retina. 2019;39:1-11



## 略語一覧

<b>aHUS</b>	非典型溶血性尿毒症症候群
<b>AIE</b>	自己免疫介在性脳炎
<b>ALCL</b>	未分化大細胞リンパ腫
<b>BS</b>	バイオ後続品
<b>CLL</b>	慢性リンパ性白血病
<b>CRC</b>	結腸・直腸がん
<b>CRT</b>	化学放射線療法
<b>DLBCL</b>	びまん性大細胞型B細胞リンパ腫
<b>DMD</b>	デュシェンヌ型筋ジストロフィー
<b>DME</b>	糖尿病黄斑浮腫
<b>GE</b>	ジェネリック医薬品
<b>gMG</b>	全身型重症筋無力症
<b>HEM</b>	ヘムライブラ
<b>LGSOC</b>	卵巣低異型度漿液性腺がん
<b>LN</b>	ループス腎炎
<b>MIBC</b>	筋層浸潤性膀胱がん

<b>MOA</b>	作用機序
<b>MOGAD</b>	抗ミエリンオリゴデンドロサイト糖タンパク質抗体関連疾患
<b>nAMD</b>	中心窩下脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性
<b>NSCLC</b>	非小細胞肺がん
<b>NSQ</b>	非扁平上皮
<b>PNH</b>	発作性夜間ヘモグロビン尿症
<b>PS</b>	プロフィットシェア
<b>r/r aNHL</b>	再発または難治性のアグレッシブB細胞性非ホジキンリンパ腫
<b>r/r MM</b>	再発または難治性の多発性骨髄腫
<b>RON</b>	ロナプリーブ
<b>ROY</b>	ロイヤルティ
<b>RVO</b>	網膜静脈閉塞症
<b>SCD</b>	鎌状赤血球症
<b>SCLC</b>	小細胞肺がん
<b>SSc-ILD</b>	全身性強皮症に伴う間質性肺疾患
<b>TDB</b>	T cell-dependent bispecific

# お問い合わせ先

## 広報IR部

### 報道関係者の皆様：メディアリレーションズグループ

Tel : 03-3273-0881

E-mail : [pr@chugai-pharm.co.jp](mailto:pr@chugai-pharm.co.jp)

担当 : 笹井、横山、齋藤、和泉、大塚

### 投資家の皆様：インベスターリレーションズグループ

Tel : 03-3273-0554

E-mail : [ir@chugai-pharm.co.jp](mailto:ir@chugai-pharm.co.jp)

担当 : 櫻井、佐藤、島村、吉村、山田



Roche ロシュグループ

創造で、想像を超える。